

# 地元の伝統

## 駿河漆工芸品に親しまおう!!



2017年

12/17(日)

講座の前半で駿河の漆工芸についての理解を深めます。  
そして後半では箸と箸置きづくりにチャレンジします!

時間：13時～16時

対象：小学校4年生以上 15名

参加料：ひとり2,000円

申込み：電話申し込み（先着順）

11月17日(金) 13時～受付開始

※TEL：054-246-6191

場所：アイセル21

4階 第45集会室

※体験では職人さんがあらかじめ本漆を使って塗ったものを研いで仕上げる過程を行います。こちらで用意したゴム手袋を着用して作業をしますが、肌の弱い方はかぶれにご注意ください。



### 当日の予定

13:00～ 担当者・講師挨拶

13:05～ 工芸品の魅力について

13:30～ 作品の製作

16:00～ 解散

※進行上、時間が前後する場合があります。

今日の工芸品というものは「ものすごく高価で普段の生活からは程遠い」というイメージを抱いていませんか？しかし、それらは古い時代に生活雑貨として日常的に使われていたものなのです。

現在は量販店が数多く進出し、古いものは捨てられ、次から次へと新しいものが使われる、まさに大量生産・大量消費の時代になりました。そのような現代社会の中で、名工たちが生き残りをかけて、従来の生活雑貨に高付加価値を追求して魅力を高めたのが工芸品なのです。ゆえに、生活雑貨とは違う、特別なものという感覚が私たちのなかにあるかも知れません。

講座では、工芸品についての理解を深め、漆器の箸と箸置きを仕上げます。特に「マイ箸」は職場や学校など、活躍の場は幅広いはずです。これを機会に、工芸品を生活雑貨として毎日当たり前のように使う文化を再び広めて行きましょう!!

## 講師紹介

### 安藤 嘉津夫

静岡漆器工業協同組合理事長  
静岡市伝統工芸技術秀士



静岡市駒形生まれの78歳で、昭和21年に田町に移り住みました。昭和32年、父の漆職人業を受け継いだ代替わりの際に安藤漆工房を開業し、約60年間この仕事を続けています。時代の流れとともに生活様式が変化して行く中、工芸品の魅力を広めるため、県や市のイベントに積極的に参加したり、同業者と一緒に地元の浜松や東京などの大きな消費地に出掛けてPRする活動を行っています。またデザイナーと協力し、従来の赤や黒にとられない、カラフルで斬新な商品を生み出す努力もしています。最近では、イベント出展のためのお椀作りに特に力を入れています。

## 交通案内

### 静岡市葵生涯学習センター (アイセル21)

指定管理者 静岡市文化振興財団共同事業体

TEL : 054-246-6191

静岡市葵区東草深町 3-18

《バス》 JR静岡駅北口 10番線のりば  
県立病院高松線「アイセル21」  
駿府浪漫バス「アイセル21」

《徒歩》 JR静岡駅北口より約30分  
静鉄新静岡駅より約20分  
静鉄日吉町駅より約15分

※駐車スペースに限りがあります、  
公共交通機関等でのご来館にご協力をお願いします。

